

週刊

世界と日本

発行所 丸の内外ニュース
 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-10-2
 TEL 03-3553-1254 FAX 03-3553-1670
 E-mail nissai@nissai.co.jp nss-jp@nss-jp.com
 URL http://www.nissai.co.jp
 代表者 清水 昭
 発行人 千葉 榮樹
 毎月発行部数 10,000部(読者数100,000人)
 郵便局定額外郵便 03156-7-54264



大久保 和孝 氏
 新日本有責任監査法人
 CSR推進部長 パートナー
 公認会計士

慶應義塾大学法学部法律学専攻卒業、
 東京日本リスナビリティ研究所常務取締役、
 社会的責任研究会委員(環境省)、研究費不正
 対策検討委員会(文部科学省)、横浜市コンプライ
 アンス外局評議員、不二家食品製造会環
 境対策委員、沖縄大学大学院公共政策学第三学
 科委員、改正研究会委員、環境省国内排出
 削減制度検討委員会、京都クレジット等取引
 所研究会など、複数の行政・企業等のCSRコン
 プライアンスの第三者委員会委員として参画。
 そのほか、早稲田大学等の非常勤講師、複数の
 財団法人やNPO/NGO等の役員等に就任。

変化に敏感に対応せよ

今の経済社会を「**変化に敏感に対応せよ**」
 と言いたい表すと、無
 知にして形式主義
 が蔓延り、社会全体
 が思考停止状態に
 陥っているという
 も過言ではありませ
 ん。たとえ「メディア
 は「意味期限」消
 費期限」といった用
 語の用法もあいま
 のまま、事件の背景
 を究明することな
 く特定企業に対し
 て一方的な社会的な
 批判を展開し、当該
 企業の事業が立ち
 行かなくなるまで追
 い込みます。言うな
 らば、社会そのもの
 が、物事の本質や背
 景を考へることな
 く、メディアの一方的
 規則等を揃えるこ
 とばかり関心をもち、
 報道で世論が流
 されて、そこでの風向
 断が形成されている
 側面が否めません。
 その一方で企業
 は、社会からの批判
 を恐れるあまり、何
 か問題があったとし
 て「逃げ」を繰り返
 して、問題が生じて
 も、現場の実態を直
 視し、根本的な原因
 を究明することよ
 りも、形式的な用件
 を整備するためのコ
 ンプライアンスや内
 部統制などの体制
 構築に腐心します。
 そうして、メディアや
 ガンばかり並び立て
 るなど経営者によ
 る言行不一致が露見
 する。その典型的な例は「**底**」を叫びます。そ
 れゆえに、ひとたび
 問題が露見すると、
 これまで見て見ぬふ
 りをしてきた現場の
 実態などの臭いもの
 に蓋をしてきたもの
 が一気に噴出し、発
 端は局所的な問題
 であつたとしても、
 瞬く間に組織全体
 の問題として波及
 し、結果として壊滅
 的な社会的批判に
 ささらされるのです。
 また、社会批判にさ
 さらされた従業員は
 ベーシオンが下がっ
 ているところに、さ
 らに現場の実態を
 無視した形式的な
 ルールを強化する
 ことは、より一層、現
 場のモチベーション
 を著しく阻害する
 要因になりかねない
 のです。いうなれば、
 美辞麗句やスロー
 ー二つ目に、日本語と
 いう言語を喪失した
 ことで、たとえば
 その典型的な例は「**底**」



問題発生 の 三要因

このように日本の
 経済社会構造を作り
 出した要因には三つ
 の要因が考えられま
 す。
 まず一つ目は、組織
 の先導的な役割を果
 たすリーダー(管理
 職以上役員を含む)
 を養成してこなか
 ったこと、大規模な
 職以上役員を養成し
 て、大規模な視点に
 向けて走り続けるこ
 とができませんでした。
 その
 質を捉え、自主的に
 ような社会では、社
 会に対するセンチテ
 ィは必要ありません。
 せんでした。しかし、
 言い訳作りとしての
 形式用件を整備す
 ることではなく、い
 か
 ンシティを高め



人材育成が 肝要

今、企業経営で最
 も重要なことは、項
 目も高い知能を有して
 いる種でもない。最
 も敏感に変化に反
 応する種である。
 チャールズ・P・
 ダーウィン

「**底**」を叫びます。そ
 れゆえに、ひとたび
 問題が露見すると、
 これまで見て見ぬふ
 りをしてきた現場の
 実態などの臭いもの
 に蓋をしてきたもの
 が一気に噴出し、発
 端は局所的な問題
 であつたとしても、
 瞬く間に組織全体
 の問題として波及
 し、結果として壊滅
 的な社会的批判に
 ささらされるのです。
 また、社会批判にさ
 さらされた従業員は
 ベーシオンが下がっ
 ているところに、さ
 らに現場の実態を
 無視した形式的な
 ルールを強化する
 ことは、より一層、現
 場のモチベーション
 を著しく阻害する
 要因になりかねない
 のです。いうなれば、
 美辞麗句やスロー
 ー二つ目に、日本語と
 いう言語を喪失した
 ことで、たとえば
 その典型的な例は「**底**」
 経済成長が鈍化した
 用しなくなり、い
 かに組織の構成員がセ
 ンシティを高め

企画特集

CSR Corporate Social Responsibility

安心・安全・環境
我が社の取り組み

contents

- 全日本空輸株式会社.....1頁
- 三井物産株式会社.....2頁
- あいおい損害保険株式会社.....2頁
- 東セブン&アイトHLOGS.....3頁
- 東京ガス株式会社.....4頁
- ホーテキ株式会社.....4頁
- キョーマン株式会社.....4頁

企画 丸の内外ニュース
制作 営業 部

め、急激に変化する
 経済社会に対処して
 いくことができるよ
 うにするための組織
 的な仕組みを構築す
 るかです。そこで、第
 一に「**底**」を叫ぶことは、セ
 ンシティを高め